(十六日夕刊)

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

痔の最高内服薬 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角 山野邊藥局

童謡 山路集
山路たどる

夜のてんと虫(一)

萩の葉つぱにねんねして
おうちを忘れたてんと虫
ほろほろ夜つゆに目がさめて
泣き泣きみ空に飛んでつた
てんと虫がたつたらう
可憐いそうにとれ月様
くもから出て來て秋の夜の
みちをば教へてやりました

淋しさ

淋しい故に友達の
家の前迄來たけれど
門のわきには犬が居て
込るにはいれで呼んだとて
遠く遠く家の中
淋しいままに門の前
いつたり來たり待つ内に
小雨がしよぼしよぼ降つて來た

遠足

てるてる坊子は樹の枝に
あした空をみつめてる
坊やは樂しい床中で
あしたの遠足夢みてる
夜空はすごい風の音
見えつ隱れつ秋の月
心配そうに母さんは
御室に立つてそれ見てる

小屋の中

お人形買つて頂戴いと
だゞこねたら小屋の中
いくら泣いても叫んでも
表は固い鐵のかぎ
泣き泣きつかれて眠る目に
映るは人形の山の部屋
まあうれしいと種々の
お人形抱けば目がさめて
何時の間にやら夕燒が
こはれた穴からさし込んで
サラサラサラと桑の葉が
秋の夜風に泣いてゐた

見られぬ十五夜

月の見えない十五夜は
作つただんごも淋しいな
畑はさらさら風の音
み空は眞つ暗雨の空
月の見れない十五夜は
作つただんごも淋しいな

新政黨の赴く所
城山 磐岳生

床次氏中心の第三黨は、その後多少行き惱んでゐる樣であるが、しかし、全体挫折したわけではあるまいから、たとへ豫定の筋書通りには行かぬとしても結局當初の聲明に本づいて進むものと思ふ。床次氏の肚裏には一擧に新黨を成立せしむる計畫のやうであつたがその後の情勢から、先づ舊本黨系の脱黨者を以て一個のクラブを組織した後、徐ろに新黨の組織に漕ぎ付やうとするに至つた。これが豫定の變更といへばいへる。豫定の變更は一種の挫折と見られぬこともないが、しかしわれらから見ればむしろこの方が新黨の組織計畫としては正しい行方であると思ふ。

今更説明するまでもなく、政黨なるものは一夜にして作らるべきものではない。一夜にして作られる樣な政黨は、いはば、浮き草をかき集めたやうなもので、殆と何の役にも立たないのである。一個の議員俱樂部ならば知らず、いやしくも政黨となる以上、先づ政綱政策を定めてこれを國民に徹底的に領解せしめ、その共鳴と後援とを基礎としてその上に立たなければ眞の政黨とはいふことが出來ない。

床次氏が新黨樹立の聲明書を出したのを見て、意外の感に堪へなかつたのはわれらの見解が、政黨の一夜造りを不可能としたからであつた。昨今、新黨の組織が捗々しく行かないのを見て一般の人人はこれを行き惱み、若くは、挫折と思つてゐるやうであるがわれらはそれをむしろ當然のことであると思ふ。第一段の準備として新黨組織の下拵ねの爲のクラブを組織した上で政綱政策を確定してから、これを掲げて全國的に遊説して、普く國民の諒解を得たが、新黨組織に進むのが正道である。この正道を踏ますして、たゞ若干の議員を集めてこれを新政黨なりといつても、われらから民政黨、未だ以て眞の政黨なりとはいへぬ。單に一個の議員クラブに過ぎないのである。豫定の計劃の變更されたのはその間における各種の複雜な關係からあるむは當然、一頓挫を來したるかも知れないが、それらの内部における情僞關係はしばらく問はず、兎も角も新政黨を組織せんとする計劃、しかはそ挫折の結果が却て正道に反したともいへやう。われらは新黨組織の計劃に向かつて先づこゝに三省せんことを希望してをきたい。

それから、今日政黨は實情が主義主張の下に集まらすして、人を中心として集

まるのは事實であるけれども、本來、政黨の生命が政綱政策にあるのはいふまでもないことである。故に、先頭の聲明書によつてたぼろげながら、新政黨の向ふところは示されやうではあるが、しかし、なほ一層これを明瞭にし、また具体的にして新政黨の政綱政策を明かにすべきであるその政綱政策を明示されなければ國民として、贊否を決するわけには行かないのであるから何よりも先に政綱政策を國民の前に標示すべきことを勸めざるを得ない。

明日の吉凶

舊三曆七日　新曆七、八月

▲一白 吉凶交々至り捕促しがたき運氣目重が第一 ▲二黑 人のもつれ事には成るべく口を入ぬ樣すべし ▲三碧 一時不安の氣は襲はるゝとも敗には至らず ▲四綠 外に出ては口を愼み世話事は目上に讓るべし ▲五黄 外に飛び廻らすとも內にありて事必發展す ▲六白 一家同体となりて働けば邪魔物皆去るべし ▲七赤 輕卒の行ひを愼み手堅く進めば大發展す ▲八白 不況は世間並と思つて忠實に働くべき日 ▲九紫 和合を失はぬやう共に進めば大によし

平町田町 高久病院 電話五二三番

講談 幕末秘帖 狂恕乱心 (18)
渡邊默禪作　宮野耿春畫

際限がないので、平馬は地烈たさうに舌打しつゝ前へ出た。

「ア、コレ〳〵控へさつしやい、拙者が直々お過ひいたす」

と袴の褄を取つて扇子をひたりと前に置いて、恭々しく一禮した

「是は〳〵、始めて御目通を仕る、手前事は神田小川町住居、神保佐渡守の家來廣瀬平馬と申す者御見知置きの上に向後何分とも昵懇の儀を願はしう……イヤ、どうかその儀にて、エヽ、その儀々々、サア、お手を揚げられ、お手を」

此方は面喰つて只まご〳〵

「へ、ね、へえ」

と尻込しては夫窓を搔ばかり、何が那やら夢中である

「エ、、今日失禮をも顧みす突然に推參仕つた仔細と申すは、餘の儀でも御座らん」と扇子を膝に突立てて「昨日のこと、手前方奥女中雪江と申す者、雜司ヶ谷鬼子母神參詣の砌、新徽組浪人ちやと申す惡侍に附纏はれ殊の外迷惑難儀、折柄、貴殿のお目に止り直ちに御救ひ取りくだされた段、本人に取つては再生の御恩、手前屋敷に取つても實にハヤ忝けないことで御蔭に依り外聞恥辱を遁れ申した、此儀謹んでお禮を申せとの主人のいひ附、佐渡守名代として平馬罷り出でまして御座る」

と叮嚀にお辭儀をした。

梅も同じやうにぴよこ〳〵お辭儀をしが、そのとつち加減は他目から見ると突然眞似でもしてゐるかの樣、併し當人は一生懸命、苦しさうに鼻の頭の膏汗を拭ひ——手拭を鷲掴みにして——そもその手ぬぐいは頭の物だ

「へ、ね!それぢア何でげすか、昨日のお女中さんは、お前さん許の……へね!左樣でごせわすか、へね」

「就きましては誠に輕少ぢやが眞の寸志、お禮までに持參仕つた所何卒御笑納くだし置かるゝ樣に」

仲間に昇がせて來た進物を取寄せてそれに列べた白木の臺には山なす反物と目錄一封、角樽に青龍、活きて跳出すやうな

梅は呆氣に取られて茫と眺めてゐたが

「こりやア何でごせわす?」

「ね聊かながら御禮の印でござる」

「ホウ、何のお禮だね」

「只今も申し上げたる如く女中雪江をお救ひくだされたソノ御厚意に對して……」

「おい、戯談しなさんな」

梅は迷惑さうに右の頰を搔いて

「私ア別にソノ女中を助けて遣つたの何のといふやうなそんな大した譯ぢや無ねへ、猿に障らか、買つて出た喧嘩、械會でついで殺やして遣つたゞけの事なんだから可うお女中に掛り合つた話ぢやねえんだ、それに遁應物を持つて來られちやア、た間違ねをされたやうで、俺アいけね迷惑だ、こいつア貰え無ねや、濟まねぇがた武家さん、持つて返つてお呉んなせえ」と押戾す。

平馬は首をひねつて其顏をじつと見てゐたが

「イヤ、流石は」

と膝をうつて

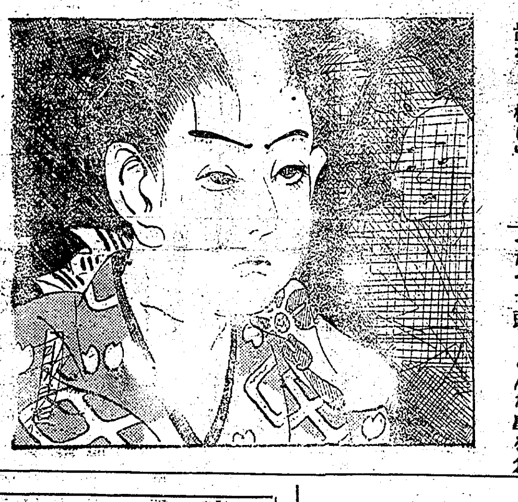
「潔白なものぢや平馬感じ入つてござる」

取れ、とらね、と押問答をしてゐるのを側の音五郎が悶かしがつて

「おい梅、折角持つて來てた呉んなすつたんだ御親切を無にしちやア却つて失禮だらうぜ、戴いて置いて置きな、ヨウ、戴た方が旦那がた悅びになるんぢやなえか」

と慫めると

「だつて頭、こんな事を為て貰つちやア……第一返禮の爲樣が無え、こちらの樣な貧乏者ちやア」と恐々として居る。



吉田眼科醫院

スター好 中形
粋な手中
着尺モスリン 本場カヤ
平 龜田屋 電五七

八月十六日ヨリ寫眞差替へ

夏期謝恩大興行〔第四週目〕

尾上多見太郎得意の大作品 助演—淺野雪子、金子弘、岡崎晴夫
宿無の大名
成功を夢見て惡代官に亂打された、使奴の德平は世の風潮に乘じて勤王一方の將となる無宿の大名

三桝豐、瀧花久子、神戸光、大崎史郎
しやぼん娘
しやぼん娘にや親がない、母に逢ひ度さ風船乘り劇中劇にはホト、ギス、それ以上の悲劇とは何

猛優—松平鶴之助主演 賓川延一郎、嵐珏松郎、秋月信子、中村英雄
薩摩劍兒
雙俠
冴腕俠半中が七組と仆す……名妓萬壽の義俠右手には妻の仇左手に萬壽の仇、義劍見事に

舊盆まで料金改定並等金十錢
土日曜日學生デー
高級常設 平館 電四六六

亡阿部靜作 本年新盆に相當り候も提灯その他の御惠贈堅く御斷り申候
平町白銀町 阿部君子

中元贈答品
として必ず皆樣の御滿足を得る品は
◎タオル箱入 三本 五本
◎敷布箱入
◎沓下
◎縮シヤツ
◎牛布箱入
◎ツルヤノ特價石鹸
商品券の御利用は最も便利です
[に] ツルヤ

三益玉炭のお奬め
三井物産會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
値段ハ壹箱金貳圓
個數ハ約八百個內外
□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ強ク日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン
□ソレデ値段ハ大變お安ク木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス
□ドンナニ喰はずきらいノ人でも一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス
御申越次第見本ヲ持參シテ御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ
平驛前 阿部石炭商店 電話二三七番

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平局五〇七番

優秀なる最新型腕卷時計
◙クローム側 白金代用側
十型十石入アンクル 七圓五十錢
十型十五石入上アンクル 拾壹圓
九型十石入上アンクル 九圓五十錢
九型十五石入上アンクル 拾三圓
八型十五石入アンクル 拾貳圓
八型十五石極上アンクル 拾五圓
◙十八金側 〔金質保証〕
十型十石入上アンクル 拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル 拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル 拾五圓
八型十五石入上ヤンクル 拾七圓
鐵道省御用 金光堂時計店 平町五丁目(釜屋商店前) 電話七三六番

外科新設
外科專門 部長 藤本順
診療開始

産婦人科 院長 木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町 木村醫院 電話一六四番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 ㊇釜屋商店 諸橋久太郎
電話九番・一三九番 振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

X光線科 外科專門
入院隨意(自炊の便あり)
平南町 上田外科醫院 電話一二九

ホシ美白粉
ホシ美クリーム
ホシ美ローズ香水
星製藥株式會社

自行の萬全を策して有力な他の銀行を中傷
地方產業發達の爲めに 革正會が猛然奮起

石城郡地方は經濟界未曾有の變動以來一般民衆は銀行を信賴するの念薄らぎ其の間凡ゆる宣傳を試みるものある一方狼狽せる銀行當局は自己銀行の安價な信用を贏ふべく他銀行の信用を失陷せしむる如き妨害的言動をなすものすらあり社會はその卑劣なる行爲に批難と嘲笑の聲を放つてゐるが福島革正會では十六日左の如き宣傳ビラを配布した

本會は石城經濟界安定の爲めに賢明なる石城郡民各位に訴ふるものである本會は政黨政派を超越して嚴正公平なる態度を以て眞に一般民衆の幸福の爲めにのみ活躍してゐるものである過去拾數回の財界安定演說會及聲明書も皆な本縣經濟界を憂慮せるが故である

ことに石城郡の中心地たる平町に於いての有力なる磐城銀行の休業に依つて預金者取引者の苦痛察するものなりと雖も平銀行が自行の萬全を策し他の堅實なる小資本の銀行に對し中傷する如きは決して自行の幸福たるものでは無い又預金者も平銀行を信賴すると共に他行即ち平町の磐越銀行植田町の磐東銀行平町の磐城實業銀行四倉町に四倉銀行等の小資本にても堅實なる銀行に對しても應援し以て地方產業發達を助長させべくである（中略）石城郡民各位各位は地方を愛し平地方の發達を冀へ產業に貢獻するに唯一機關の本店銀行を愛させれよ此れ諸君の幸福であり然して義務であらねばならぬ休業銀行に對しても且つ又現在營業しつゝある銀行に對しても援助し聲援することそ諸君の幸福でないか自行のみ有力なる如く宣傳し他行を傷けるが如きは紳士的行爲ではないこゝに本會は石城財界の爲め諸君の考慮あらん事を希望するものである

福島革正會

勿來校落成
本月末工事終る

石城郡勿來町である大正十四年から機織事業として工費十萬圓を投じて移轉新築中であつた小學校校舍は最後までの殘工事となつてゐた二棟の校舍が本月末日までに落成する事になつたのでこれにより全部の工事が完成される筈であるが尚御大典記念事業として有志の寄附により新築される奉安庫も九月中に竣工の筈でこの工費は約千圓であると

明春の選擧を控え有資格者の調査
四千七八百名に達す 平町の有權者

明春五月を以つて執行される町々會議員選擧は新法施行後第一回の選擧であるだけ各方面から頗る注目されてゐるが既に二三野心家も現はれて潛航式運動を始した樣だが、範圍擴大に伴ふ意外の變り種候補者等の出現と共に可成の激戰を豫想されてゐる此の選擧に先立つて平町當局では來る九月十五日現在で選擧人名簿を作製すべく目下着々準備を進めてゐるが從來舊法當時即ち前回は二千八百の有權者が今回からは新法に依る爲め一躍此れに倍加して約四千七八百に達するものと觀られてゐる爲め名簿作製上多大の困難が伴ふのは必然で此れが爲め町當局では近く全町に亘つて有資格者の戶別調查をする筈であるが萬一調查洩れがあつてはとの見地から全町有資格者の申告書を提出せしむる事となり各區長にそれぐ通達する處あつた尚名簿作製に就いて町當局では毎回二三の調查洩れがあるが此れは寄留者が寄留屆を怠つてゐる事に原因してゐる樣ですから今度からは絕對に調查洩れのない樣に調查をする覺悟ですが寄留者は必らず寄留屆を出す事及一般からも有資格の申告を區長の許に提出する樣に努めて戴きたい」云々

實用向き一點の贈答品が賣れる
不景氣も何のその 舊盆前の平地方

平町地方は財界の不穩な空模樣につけ加へてホントーの天候されも一ケ月をあの俘に人氣はグッソリと滅入つてこの不景氣中に中元もあるまいと年々減少して行とはいふものゝそれでも數だけは相當にハケて往つた贈答品も昨年よりはグッと減つて案外の不成績であるが中元の贈答品につき某商店の談によると「一般の方の贈答品としては憶に手喰されたやうだが實用方面の一點張で「誰方にも役にたち持ちのよい」といふの

化粧品の組合はせ

ので五圓から十圓邊が相當にハケ香水などゝも赤箱の一打位は出たが此の頃はそれは依然として有名品が請がもない、然し化粧品としてよいがこれも品質本位と名惚れ込まずに新品の出て行くなども世の樣で一番賣れるのはタオール、メリヤスシャツ、クレップの縮シャツ、ワイシャツでタオールとしても昨年の今季に比べると綿糸も二割ほどの上騰で當然襯衣タオールの値も昇騰すべきであるが何しろ財界の關係で値段は

昨年同樣 であるけれども製造機械の改良進歩などから品物はグット良くなつてゐるので却て一割安位の處で一二ケ月前から弗々見え出した成績では第一がタオール、二位かクレップの縮シャツ、次がメリヤスシヤツ、第四位が化粧品であるが驚くのは旅行用カバンの出方で例年にない好成績は登山流行、旅行流行の賜であると

事業と人 （一） 銀行界の美談
中野頭取の許此株主あり 磐越銀行の誇

平町磐越銀行は濟界未曾有の難局を容易に切り拔け昭和三年上半期の成績は利益金一萬九千七百餘圓と云ふ好成績を示した、同銀行は既に開業十週年を迎えやうやく社會の期待に叛かざる今日の基礎を築き得たので他銀行會社の例に倣へば記念配當とか特別賞與などの擧に出づるのであるが地味を尊ぶ中野頭取は深く考ふる處あり此の記念すべき開業十週年と濟界未曾有の混亂を一劃期に益々銀行內容の充實を計る爲め全く前記の擧を廢するのみならず更らに今期利益金一萬九千七百餘圓中から配當を五分に止め滯貨償却の英斷をなすことゝし更に三萬五千圓の準備金を保留したことは時節柄最も當を得たものとして各方面の賞讃を博してゐる、殊に特筆大書に値するは中野頭取は重役賞與金を遠慮し之れを原案として株主總會に臨むだ處、各株主の意見は

打ち續く財界不况に當面し業務益々順調に發展し前途が確實に安定し得たことは偏へに中野頭取の手腕と努力によるものであるからと特別賞與金の贈呈方を決議した

等實に銀行界近來の美談である、中野頭取は他銀行頭取の如く超然主義を採らず株主、預金者と共に一個の家族的活動を本旨とし飽くまで公明正大に始終してゐる、即ち此の程株主に發した挨拶狀の一項を見ると

（前略）滯貸勘定など言ふものは左樣にたやすく決定的に算出出來るものでありませぬ、素より本行と雖とも私の監督營業共に不敏でありました點から不良貸しも出來たと見なければなりませんが、只今直ちに全然不良貸であるとは決定出來ません

上述の如く勇敢に赤裸々に打ち割る所に中野頭取の眞價があり株主預金者の信賴と銀行の信用を高め行く所以のもので同行が名實共に完備せる基礎を築き得たことは地方の爲め喜ぶべきものである

石城 名所めぐり（十三）
古事傳說に富む 神谷村の附近

△座主館址

神谷村大字中神谷地租作にあり妙見館とも云ふ、街道より北に當り羽黑權現一山寺の間に見ゆる横山是れなり、東西二十二間、土堤之れを廻りて回字形をなす坦道その腰をめぐり小川渠其の西南址を流る、高さ五丈許りの小徑あり一は南に下るべく一は北に出づべし、蓋し前門後門の址が、昔承久慶應の頃千葉六黨の內相馬、大須賀等奧州に下向の時、神谷氏も亦た四倉氏と共に來りて磐城に止まり神谷を領し以て氏となし此の館に住す、神谷氏は白土を領せしにより後白土と改め文祿二年に至りて山田小港に移る、尋て慶長元年頃丹波守義照常州車城よりて入りて住す、一山寺にその菩提所にして義照夫婦の位牌及び古塔あり

△片寄館址

神谷村下片寄字野々目の山上にあり里俗御城厚といふ、址上平坦、丑より未に長さ九十間、己より亥に長さ廿間許り、松樹灌木荒地に滿つ、土人相傳へて午未を前門と爲し、乾隅を後門と爲す、前門あと今まさに斗拱の狀をなす、直經一線すぎ字鬼越に出づべし、後門あとも亦た仄經あり羊腸として野々目に下る、山勢東南北に突出し西小山丘に聯接す、其の突き出せる所自然脚をなす高さ十八丈許り城脚の牛稍々傾斜の地あり疑くは外棚を樹つる處ならん、小館記に片寄五郎忠義之れに居るといへ、元弘建武の頃片寄小三郎周舍弟孫三郎之れに居ると、義忠の安本尊彌陀佛遍照寺にあり、絹谷、大森狐塚等皆片寄の領地にして一族を分ちて之れに居らしむといふ

△穴居跡

草野村大字馬目字作の內山腹にあり、口甚だ狹隘大なり、葡萄して入れば十數人を入るべし、同村北神谷字吉作にも數個所ありて孰れも三四相並ぶ小なるもの大なるもの丈餘十數人を容るべし、字鎌倉にあるもの東西一丈一尺餘、南北七尺餘概ね口狹くして陽に向ふ、山の半腹以下にあり獨り鎌倉の窟は上甚だ高きところにあり皆岩質堅牢崩るゝ患ひなし、大浦村大字仁井田字岸前の山腹にあるものの口甚だ狹く方三尺許り人僅かに入るを得べし、入れば從つて廣く窟入房を設けること三個所あり、其の深奧に位するもの房口四尺腰を屈して入る、廣さ三坪許り其の束にある廣さ大略寢房に同じ、窟口の左に支房稍小なり結構また粗なり

辨當持ちで 各地を荒す
好夫逮捕さる

箕輪村大字高野高萩義吉二男好夫（二九假名）は今月初旬竊盜罪で平署に逮捕取調の上微罪放免されたが今十六日午前九時頃平驛前附近を徘徊してゐるので平署猪狩刑事が不審と睨み本署に引致の上嚴重取調だ處此奴は磐城炭礦 事務員だと稱し毎日午前六時頃辨當を持つて家を出ては各方面で胡鼠泥を働き活動見物などをなしてゐたが父には出勤帳を僞造して此れを示してゐたものである事を自白引續き餘罪を取調中である

養蠶同業で 屑繭整理
傳習會を開く

石城養蠶同業組合では農家經濟上から屑繭整理傳習會を開催しつゝあるが來る廿四日から十月十二日まで左の日割を以て各町に於て角眞綿、玉糸傳習會を開催することに決定した、講師は成田とめ、丹野かつえ、山本きぬの三氏である

△八月二十四日—三十日澤渡村△九月一日—七日永戶村△同八日—十四日箕輪村△同十五日—二十一日泉村△同二十二日—二十八日山田村△同二十九日—十月五日磐崎村△九月三日—十二日上遠野村△同十三日—十九日

百餘名の猛者揃ふ 平地方の撞球熱
設備萬端を備へて マルト撞球場 鈴木氏經營

平町地方では高級な室內娛樂として知られてゐる撞球熱の躍進振りは異狀なもの、現に平町に於ける愛球家は百名を突破し其の技術の如きも長足の進歩を見て小名濱に居る白井三郎氏の二百點を最高に平署鯨岡警部補の百五十點、岡田時報君の百廿點等地方撞球界稀れに見る高點者揃ひで今後の進展を期待されてゐるが流縣地方である爲めか東都の撞球場に比し

撞球場の 設備其の他頗る見劣がする結果愛球家は各れも東京流のビリヤード出現を渇望してゐた折柄今度昨年中まで東京池の端に撞球場を經營した經驗ある新田町湖月、鈴木信雄氏は駒場氏に代つてマルトビリヤードを經營する事になり今十六日から開業したが從來クッション硬直で比難あつた球臺を改造し室內裝飾の如き東都の一流撞球場に比しても遜色ない設備を爲したので地方に於いては全く理想的撞球場であると

愛球家は 各れも非常に喜こんでゐる向一般初心者も歡迎し近く東京から一流選手を迎へ妙技の公開をする筈である

好間古河炭礦が水洗機を設置
撰炭第一主義に則つて 下野所長の發案

石城郡好間村古河炭礦下野所長は礦務の刷新と能率增進とに苦心を拂ひ幾多の改良革新を旋しつゝあるが常磐炭礦が從來の販賣方法は恰も緣日商人の如き場當り的の商法を以てせる爲め炭質の低下と信用の失墜より遂ひに北海道、九州炭に蠶食されたもので向後大いに其の面目を旋す爲めには選炭を第一にせねばならぬと云ふ見地から共益社式の水洗機を据えつけ一時間三十噸つゝの洗炭をなし今秋から出炭の全部を水洗により精選したもののみ市場に搬出する事となつた

石城統計協會 石城

郡統計協會發會式は九月上旬擧行することに決定した同協會では十一月中旬に於て農事試驗場石城分場創立五週年記念事業として行ふ園藝展覽會の前後に統計展覽會を開く豫定である

露國事情講演 石城

郡好間村青年團並に有志主催の許に三十日同村小學校講堂に於て入山採炭會社專務長吉田宗雄氏の「最近のロシャの國狀に就て」の講演がある筈である

差出人が不明の戀文や脅迫狀
それ等の處分に困る 平郵便局の昨今

平郵便局に就いて最近の狀况を聞くと規定寸法の封筒が賣出されてから極端に小さなもの或は形態の妙なものなどを使用する人が少くなつたとは云へ濃厚な色彩を用ゐた封筒に鉛筆の走り書で字の不鮮明なもの或ひは受取人の不在なものも相當の通數に上つてゐる勿論差出し人の判然たるものは返信するけれどこうしたものゝ多くは差出し人名も不鮮明で持て餘して係員か一々開封してゐるが一時はこの幽靈郵便の大部分をしめた脅迫狀の如き凄文句なども影をひそめたのか著しく減少、相變らず濃艷な戀文などが今全盛である昨今は旅行先に宛てたもの、旅行地より差出したものも多くこれは季節的な迷文とも目さるべく之れ等の處理に惱むでゐると

大浦共同販賣 石城

郡大浦農業倉庫に於ける同村產米の共同販賣は昨十五日午前十時行はれたが三等一五、四等一〇、四、五等七一合計百九十俵の四等建一駄廿二圓强で相場は日頃からやゝ下向を示した

柏木氏叙位

いはき新聞平支局長柏木哲氏令兄名古屋稅務監督局屬勳八等柏木諄氏は此の程從七位に叙せられた

少年野球を後援の寄附
有志募集中

全國少年野球大會に茨城福島海岸地方代表としての出場權を獲た平小學校野球チームは來る十八日午前九時一分平發列車で出發する事に決定したが既報の如く旅費その他の入費缺乏の爲め有志連が目下寄附金を募集中である

壁を打ち壞し亂入して滅多打ち
磐炭の坑夫金藏を被害者から告訴

內鄉村大字白水字柴中居住磐城炭礦坑夫自稱宮本川崎金藏（五二）は去る十一日午後九時頃自宅で晚酌を傾けた末附近に住んでゐる山崎春吉（四〇）方に至つたが表戶が締つてゐるので山崎方の壁約一間四方を破壞して家中に浸入就寢中の春吉に矢庭に薪樣な混棒を揮つて左眼部を毆打逃走したので春吉は今十七日金藏を相手取り傷害の告訴を提起したが金藏の暴行の裡面には何等かの事情があるものと觀られてゐる

天理教講演會 平町

古殿治町天理教平分教會では十七日午後一時より天理教學生會講演會を開催一般來聽を歡迎するそ

平藝妓連の五十米競走
一等は福丸

平町藝妓組合が昨十五日四倉海岸で平藝妓百三十名の慰安海水浴大會を催した事は各方面から虐げられたる者に對してのの快催しであると賞讃されてゐるが當日餘興の五十糸競走は一着竹廼家福丸、仲家勘平、甲子照子の三名が入賞し更らに寶探しは一等五圓商品券は三好家の娘さん文子さんが探し當て二等は麻屋の女將以下で近來未曾有の盛會裡に午後四時散會した

小名濱に潛む 宿屋荒し犯
平署に捕はる

小名濱町字米野伊藤順治郎方居住双葉郡川內村大字下川內生れ渡邊龜記（三九）は今春三月中双葉郡富岡町北廣町旅人宿三浦豐吉方に投宿し宿料を踏み倒した外同郡各地で詐欺を働らいてゐた形跡があるので此の程浪江署から平署に龜記の取調方を依賴して來た

販賣利用の懇談會
左記の日割で

石城郡販賣利用組合では今回直接生產者と懇談をなすべく同會の尾形郡農林主事千葉書記の兩名を各町村に派し事業經營について懇談會を左の如き日割によつて開催する

十四日（夏井）十五日（神谷）十六日（大野）十七日（久之濱）十八日（大久）十九日（草野）

時言

己れ非を掩はんか爲め聲を大にして他人の缺陷を指摘する如きは天人倶に容すべからざる惡德卑劣の行爲である

□

同業信義を無視し、他の信用價値を云々するが如きは宛ら天に唾するに等しく天罰のあらたかなる寧ろ當然也

□

不景氣もなんのその中元贈答品の賣れ行き飛ぶが如し、言ふべくして行はれざるものに虛禮廢止がある

□

氣狂ひ天候またぐらつき初め水稻收穫の豫想まつたく心細し、天陽人を殺さずとは蓋し古人の言ひ古しか